

Informational overview on in-vitro allergy testing

SPOT TEST の結果からできる指導 —ステロイド全身投与に頼らない、アレルギー性疾患治療—

獣医師 荒井 延明
スペクトラム ラボ ジャパン株式会社 テクニカル ディレクター

SPOT TEST の結果を、ステロイドの全身投与に頼らないアレルギー性疾患の治療に少しでもお役立ていただけるよう、結果報告後のテクニカル・サポートで様々な情報を提供しております。今回はその一部をご紹介します。これらの実施により症状が緩和されれば、ステロイドの減量や減感作療法を選択の際に、よりスムーズな導入が可能となります。



SPOT TEST の検査結果をご覧ください。*印の数(*~***)でアレルギーの原因となっている可能性の高さを示しています。どの項目に*印がついていますか？

I 草・樹木に*印 >>>>> 指導その1：散歩後のドライワイプ指導

ドライワイプとは、吸塵性・多孔性の不織布（使い捨て床拭き用の布など）で動物の被毛を乾拭きすることです。アトピー性皮膚炎の犬・猫に推奨される理由は以下のようなメリットにあります。

- ・ 毎日、気づいたときにできる
シャンプーは犬でも毎日することは難しく、猫ではほとんどできません
- ・ 環境抗原と皮膚の接触機会を減らすことができる
被毛に付着した環境抗原が皮膚に到達する前に除去することができます
- ・ シャンプーのように被毛に付いた抗原を皮膚に流すことがない
洗浄の仕方が不十分だと抗原が皮膚に付着したままになります
- ・ 不織布は洗って乾かせれば何回か使えて経済的である
使い捨て用の布は安価で購入可能で、数回再利用が可能です
- ・ 動物が嫌がることなく、オーナーとのコミュニケーション手段となる
毎日の習慣にすることで、病変の観察にも役立ちます
- ・ 適切なシャンプー療法と併行することができる
適切なシャンプー療法を選択し、その併用がより効果的です

アトピー性皮膚炎と診断した子の環境抗原対策としてドライワイプを指導するようにしてから、一定の効果を得ています。効果を定量化することができず残念ですが、治療の感触は良いのでお試しください。

I 草・樹木に*印 >>>>> 指導その2：推奨フード以外のおやつ制限

草や樹木に反応を示している場合、交差性を示す果物や生野菜も考慮する必要があります。食材を限定したフードを与えていても、オーナーが知らずに果物などをおやつとして与えてしまえばアレルギーを回避できているとは言えません。また、ゴキブリと甲殻類が交差性を示すことも知られています。

アレルギー	交差性を示すもの						
ブタクサ	メロン	スイカ	セロリ	バナナ	ヒマワリ	キュウリ	ズッキーニ
	レタス	トマト	リンゴ	糖蜜	タンポポ	ラテックス	カモミール茶葉
ヨモギ	セロリ	リンゴ	キウイ	ニンジン	カバノキ	ヒマワリの種	ピーナッツ
	メロン	パセリ	スイカ	コショウ	ウイキョウ		
カバノキ (シラカバ)	リンゴ	セロリ	トマト	ニンジン	クリノキ	ジャガイモ	サクランボ
	キウイ	アズキ	パセリ	トネリコ	蜂蜜	アーモンド	ホウレンソウ
	プラム	ブナ	ソバ	コショウ	プルーン	ピーナッツ	ヘーゼルナッツ
スギ	トマト						
ハンノキ	リンゴ	セロリ	パセリ	洋梨	桃	アーモンド	サクランボ
	ヘーゼルナッツ						
ゴキブリ	甲殻類 (エビ・カニ)						

「交差反応アレルギー類 一覧」(上記一例)がダウンロードできます！
http://www.slj.co.jp/allergen_db_jp/new_allergen.pdf

II ペニシリウムに*印 >>>>> ペニシリン系(合成も含む)抗生物質の使用に注意

ペニシリウム(アオカビ)陽性個体で、ペニシリン注射によるアナフィラキシーが報告されています。

III ハウスダスト/ダニに*印 >>>>> 室内環境の見直し

拭き掃除の後の掃除機使用の徹底と、クッションや枕などの排除やカバーの検討が必要です。

IV ブドウ球菌、マラセチアに陰性の場合の解釈

慢性感作の場合、それに関連してIgEが陰転し、IgGが関与していることも想定されます。テープストリップで陽性であれば二次感染管理を徹底してください。二次感染がコントロールされていれば、痒みは現状の50%以下にコントロールできます。マラセチア対策として、イトラコナゾール5mg/kgのパルス療法(2日連投、5日休薬を1クールとして3クールごとに評価)、局所苔癬化病変があれば周辺へのタクロリムス(0.1%プロトピック軟膏)塗布による局所対処ができます。また、適切なシャンプーの選択と、シャンプー間隔、シャンプー法の指導(右ページご参照ください)が必要です。

V 食物抗原に*印 >>>> 除去食の選択

食物抗原だけが原因でアレルギー症状を起こすものは全体の10%以下ですが、環境抗原と食物抗原のアレルギーを併発しているものは50%以上と考えられています。季節性のない皮膚症状を呈した場合、IgEが関与した食物アレルギーの可能性を適切な除去食により探るべきであることが国際的にも強調されています。疑わしいものは除外するスタンスでの除去食の選択給与や、手作り食（下記【亜鉛の補充】ご参照ください）を選択してください。

- 亜鉛の補充：炎症性・脱毛性皮膚疾患に -

犬の亜鉛の栄養要求量はヒトよりもずっと高く、手作り食で亜鉛の添加の必要性は一般に知られていないので、亜鉛の欠乏が起こります。加えて大豆や穀物などは、亜鉛と結合しやすいフィチン酸を多く含むため消化管内でフィチン酸塩となり、亜鉛の吸収を阻害し欠乏を助長します。亜鉛の欠乏により、味覚障害、成長障害、肝臓への銅の蓄積、ビタミンAの不足（血流のビタミンAは亜鉛によって運搬されます）などが起こります。更に亜鉛はコラーゲンやケラチンを合成するための必須ミネラルなので、欠乏により、創傷治癒の遅れや被毛の粗剛化が起こります。皮膚科領域では亜鉛反応性皮膚疾患症候群として以下のような症状の進行性病変が知られています。特にシベリアンハスキーやアラスカンマラミュート等北方犬種で報告され、1歳から3歳の間で発症して段階的に進行します。

- ・ 紅斑、脱毛、圧迫点の痂皮形成、鱗屑
- ・ 被毛粗剛および過剰な皮脂
- ・ 体の開口部付近の化膿
- ・ 続発性細菌感染 / マラセチア感染
- ・ 痒み
- ・ 角化亢進、過剰色素沈着

一般にアトピー性皮膚炎として診断されている症例の中には亜鉛欠乏に起因するものが存在することが想定されます。補充には亜鉛量で1-3mg/kgとなるように調整することが推奨されます。

ご自宅で薬浴シャンプーをする際のアドバイス

シャンプー剤はスポンジでよく泡立ててから全身にすり込むように塗布してください。身体に直接シャンプー剤をつけないでください。

泡を塗布した後に、濡れたタオルでくるみ、最低でも5分間、理想的には10分間そのまま薬液がしみこむまで保持してください。

人肌以下のぬるま湯（32～33℃）で良くすすいでください。指の間などに薬液が残らないように1本1本丁寧にすすいでください。

吸水性のよいスポンジタオルなどで水分を吸うように身体を拭いてください。コットンタオルもコットンにIgE陽性でなければOKです。

ドライヤーで乾かすときは温風は使用しないでください。冷風で風乾するだけにしてください。

温水や温風などを使って体表面の温度をあげてしまうと血行が良くなり、シャンプー後の痒みが増すことがありますので注意が必要です。

減感作療法

SPOT TEST の検査結果から、食物・ブドウ球菌を除く、擬陽性以上の反応を示したアレルゲンを対象にオーダーメイドの減感作薬を作ることができます。

SPOT TEST の結果（一年以内）にもとづく減感作薬オーダーに必要なものは、下記3点です。

- ・オーダー表の FAX
- ・料金のお振込み
- ・初回のみ、先生の獣医師免許証のコピーの FAX（A4 サイズ）

対象が 20 項目以上となる場合はバイアルは 2 セット、注射も毎回 2 箇所ずつとなります。オーダー成立により輸入代行会社のアールケイベッツサービスが手続きを行い、オーダーより約 3 週間で先生のお手元に減感作薬が到着いたします。到着後の治療に関しても、サポートさせていただきます。



減感作薬の個人輸入に関してのお問合せは

(有)アールケイベッツサービス

TEL 03-5731-6966 FAX 03-5731-6967

月曜日～金曜日 午前10時～午後5時



関連ホームページのご紹介

全国のペットオーナーの要望を受けて、弊社検査に関連した2つの新しい Web サイトがそれぞれ設立されました。

①全国・減感作療法実施病院の紹介 HP : <http://www.sequo.jp/~narai/>

既に減感作療法の実績がある動物病院の協力を得て、実施病院リストや文献情報が紹介されています。

②全国・LipoTEST 受診可能病院の紹介 HP : <http://www.sequo.jp/~lipo/>

LipoTEST と脂質代謝改善治療が受診可能な病院を検索できます。

* 該当病院で掲載にご同意いただける先生は、弊社までご連絡ください。
随時、掲載手続きを連携させていただきます。



LipoTEST 解説書が新しくなりました！

脂質代謝解析サービス Lipo TEST の解説書が、よりわかりやすい内容にリニューアルしました。

資料をご希望の際は、弊社までご連絡ください。



スペクトラム ラボ ジャパン 株式会社

〒152-0034 東京都目黒区緑が丘1-5-22-201

TEL 03-5731-3630 FAX 03-5731-3631

E-mail: info@SLJ.co.jp

<http://www.SLJ.co.jp>